

‘第 6 回 ELNEC-J コアカリキュラム看護師教育プログラム’ 終了後アンケート

5:大変そう思う 4:ややそう思う 3:普通 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

回答人数 15 人

モジュール 6:コミュニケーション

	5	4	3	2	1
1) 講義の内容はわかりやすかったですか。	14人	0人	1人	0人	0人
2) 講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決につながると思いましたか。	15人	0人	0人	0人	0人
3) 講義で使用したスライドはわかりやすかったですか。	13人	2人	0人	0人	0人
4) 講義の内容に関心・興味がもてましたか。	15人	0人	0人	0人	0人
5) 講義の内容で印象に残っていることがあればご記入ください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンド・オブ・ライフ・ケアにおける基本的コミュニケーションのところですか。</li> <li>・傾聴や沈黙、共にいることや共感が大切なのだとわかりました。</li> <li>・エンドオブライフケアにおける基本的コミュニケーションの重要性をロールプレイで実感しました。</li> <li>・講義を受けたあと、意識して、ロールプレイに臨めたことが大変良かったです。</li> <li>・患者の意思決定支援についてさまざまなアプローチの仕方があるとわかりました。特に悪い知らせを聞かされる予定になっている患者に対するケアが印象に残りました。</li> <li>・沈黙がとても苦手でしたが、沈黙を使い有効的に患者の思いを引き出すと言う考え方が、とても印象的で明日からの看護に活かしていきたいです。</li> <li>・悪い知らせを伝えられる際の看護について、自分自身を振り返ると、患者さんが知らせを受ける前の看護が不足していたと感じました。これからは、まず患者さんや家族の、現状への理解の程度を把握し、意向や気掛かりについて聴取しておきたいです。そして、医師とも事前に、どんな内容を話される予定なのかを共有し、患者さんの意向をあらかじめ伝えておけると良いかもしれないと感じました。</li> <li>・患者さんや家族の方の感情や状態にもよりますが、コミュニケーションの上で 沈黙の時間、共にいることも大切であることがよくわかりました。</li> <li>・沈黙の大切さを学びました。</li> </ul>					
6) 講義の内意で理解が難しかったことがあればご記入ください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・理解はできました。あとは、コミュニケーション技術を自分で磨かなければ意味がないと思います。</li> </ul>					

回答人数 15 人

モジュール 6:ロールプレイ

	5	4	3	2	1
1) ロールプレイは講義の内容を理解するうえで参考になりましたか。	14人	1人	0人	0人	0人

## モジュール 7: 喪失・悲嘆・死別

	5	4	3	2	1
1) 講義の内容はわかりやすかったですか。	14人	1人	0人	0人	0人
2) 講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決につながると思いましたか。	15人	0人	0人	0人	0人
3) 講義で使用したスライドはわかりやすかったですか。	13人	2人	0人	0人	0人
4) 講義の内容に関心・興味がもてましたか。	15人	0人	0人	0人	0人
5) 講義の内容で印象に残っていることがあればご記入ください。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・遺族への手紙のところですか。改めて患者だけでなく、遺族へのケアの大切さも感じました。</li> <li>・看護師も患者の死により悲嘆があり、ケアしていく必要があることがわかり、自分自身も大事にしていこうと思いました。</li> <li>・尊厳への配慮を行うことでご家族は大切にされたと感じることがができます。気を付けていきたいです。</li> <li>・悲嘆の種類、その後のケアについて、興味深いテーマでした。</li> <li>・喪失や死別に対してなかなか踏み込んで思いを聞かなかつたり、苦手意識を持っていましたが、ここで乗り越えられるようにちゃんと悲嘆できるようにケアが必要だと言うことが印象的でした。</li> <li>・家族は、自分のケアが出来ていない事にこれからも着目して、ケアしていこうと再確認しました。ご遺族へのお手紙、ご遺族からのお手紙には目頭があつくなりました。</li> <li>・誰にでも共通する悲嘆のプロセスはないということ。</li> <li>・まず、病の過程で、人は悲嘆や喪失を抱えて人生を経ていることを改めて認識し、自分はその辛さや気持ちに少しでも寄り添える存在でいたいと思いました。遺族へのケアというところが、自分の現在勤務する病棟では、なかなか実践できていないため、スタッフはどう感じているのか聞いてみようと思いました。</li> <li>・以前はデスケースカンファレンスをしていたのですが、今は全く行っていませんが、自分のケアを振り返るのには大切だと思いました。また、デスケースカンファレンスの例のようにできれば、一番いいのですが。</li> <li>・患者さんや家族だけではなく、看護師自身も悲嘆のケアで自分自身を見つめることも必要だと学び、勉強になりました。デスカンファなどで、振り返りをする事で次の看護へ繋げることが出来ると思いました。</li> </ul>					
6) 講義の内容で理解が難しかったことがあればご記入ください。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・悲嘆している相手への関わり。</li> </ul>					

## モジュール 8:臨死期のケア

	5	4	3	2	1
1) 講義の内容はわかりやすかったですか。	15人	0人	0人	0人	0人
2) 講義内容は臨床遭遇する問題の解決につながると思いましたか。	15人	0人	0人	0人	0人
3) 使用したスライドはわかりやすかったですか。	15人	0人	0人	0人	0人
4) 講義の内容に関心・興味がもてましたか。	15人	0人	0人	0人	0人
5) 講義の内容で印象に残っていることがあればご記入ください。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の意思を尊重できるよう、しっかり情報提供すると共に、患者の意思に寄り添いたいと思いました。</li> <li>・臨死期は家族のケアが大変だと思いますが、亡くなられた患者様にも声かけをしたり家族が安心される対応をしていこうと思いました。</li> <li>・患者、ご家族が死を迎えることの準備ができるよう配慮し不安の軽減に努めることが理解できました。</li> <li>・生命予後は確定的ではないが、そこを目安に患者と家族がきちんとお別れできるようにしていくというのが印象に残りました。</li> <li>・講師の方の、患者さんへの言葉がけがとても参考になりました。奇跡を信じる患者家族への言葉がけや、選択肢が A でも B でもどちらにしても、後悔が残るだろうけれども、、、のくだりの部分。など、とても印象に残りました。</li> <li>・死が差し迫った家族に対してのケアで、できることを伝えたり、症状の兆候や変化に対して説明すること。</li> <li>・死が近づくにつれて、実存の希望や人間関係の希望などスピリチュアル的なニーズが高まっていくということが印象的であった。最期まで、その人を尊重し、丁寧にケアを行いたいです。また、家族は、本人が死期を迎えるにあたり大きな不安を抱えているということを忘れず、家族の気持ちにも寄り添い、いたわりながらケアを行っていきたいです。</li> <li>・終末期の患者、終末期のがん患者の輸液量など印象に残っています。もう一度振り返ります。</li> <li>・私たち看護師はどちらかというと身体的な症状がコントロールされて、苦痛なく家族に見守られて逝く。ことがいい看取りだと思っていますが、人によって看取りの価値観が異なる。患者さんや家族の意志を尊重すべき点を学びました。</li> </ul>					
6) 講義の内容で理解が難しかったことがあればご記入ください。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にありません。</li> </ul>					

5:大変そう思う 4:ややそう思う 3:普通 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

回答人数 15人

モジュール 9: 高齢者のエンド・オブ・ライフ・ケア

	5	4	3	2	1
1) 講義の内容はわかりやすかったですか。	14人	1人	0人	0人	0人
2) 講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決につながると思いましたか。	14人	1人	0人	0人	0人
3) 講義で使用したスライドはわかりやすかったですか。	14人	1人	0人	0人	0人
4) 講義の内容に関心・興味がもてましたか。	15人	0人	0人	0人	0人
5) 講義の内容で印象に残っていることがあればご記入ください					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の気持ちになり、考えることができました。臨床で生かしていきます。</li> <li>・痛みの訴えがなかったり、うまく表現できない方のケアのしかたがわかりました。</li> <li>・高齢者の死は生活の延長線上にあること、日々のケアを丁寧にを行うことが尊厳保持に繋がることが理解できました。</li> <li>・老いついて、深く知ることができました。</li> <li>・高齢者、特に認知症の患者の訴えは見落とされがちと言うのが印象的でした。それと同時に、たしかにそうだと理解もできて、疾患ばかりをみていたことに気付かされました。</li> <li>・高齢化が進む中、認知症やせん妄を起こす患者さんがとても多く、うちの病棟は常に何人か安全センサーなどで安全対策を取っている現状があります。『高齢者は誰かの手を借りて生活をする。これは死ぬまで続く。高齢者の尊厳を守る』為の5つのCを念頭においてこれからも働きたいと思えます。</li> <li>・高齢者に過不足のない医療を提供するために、家族と医療者で丁寧にアプローチし、高齢者の意思を擁護し意思決定を支援することの重要性。</li> <li>・高齢者の現在を理解するためには、過去を知ることも重要というのが印象的でした。その人のライフレビュー・語りを大切に、ひとりひとりを尊重した態度で接したいです。また、高齢者の方は思うように動けない・感情表出ができない場合が多くあるということを再認識し、心地よい・穏やかに過ごせるような環境やケアを提供したいと思いました。</li> <li>・尊厳を保持する為の日常生活上のケアが当たり前のことですが、できていないと改めて思いました。すぐに始めます。</li> <li>・認知症の患者さんはどうしてもケアの際、興奮や拒否があって 認知症だから仕方ないと思っていたところがありました。ですが、体の苦痛の訴えで現れていることもある、と言われていたところでした。</li> </ul>					
6) 講義の内容で理解が難しかったことがあればご記入ください。					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特にありません。</li> </ul>					

5:大変そう思う 4:ややそう思う 3:普通 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない

回答人数 15人

## モジュール 10:質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアの達成

	5	4	3	2	1
1) 講義の内容はわかりやすかったですか。	14人	1人	0人	0人	0人
2) 講義の内容は臨床で遭遇する問題の解決につながると思いましたか。	14人	1人	0人	0人	0人
3) 講義で使用したスライドはわかりやすかったですか。	13人	2人	0人	0人	0人
4) 講義の内容に関心・興味がもてましたか。	15人	0人	0人	0人	0人
5) 講義の内容で印象に残っていることがあればご記入ください。					
<ul style="list-style-type: none"><li>・患者・家族がリソースを活用できるよう、支援していきたいと思います。</li><li>・自分の目標の立て方がわかり、実際に明日から行動していこうと思いました。</li><li>・チームにアプローチし検討実践することが質の高いエンドオブライフケアに繋がること。</li><li>・質の高いエンドオブライフケア達成におけた取り組みの5段階の流れを今後、実践で活かしたいです。</li><li>・私は個人レベルで参加した研修でしたが、みなさん今後の目標にチームや病棟自体をよりよくしようという思いが込められていて、周りを巻き込んでエンドオブライフケアを実践していこうということが印象に残りました。とても大きな学びでした。</li><li>・質の高いエンド・オブ・ライフ・ケア達成に向けた取り組みの5つの過程に沿って、順序立てて丁寧に、明日から取り組んで行こうと思います。とてもわかりやすかったです。</li><li>・自部署で、行えることからやっていこうと思いました。</li><li>・質の高いエンドオブライフケアをどう行っていくか、分かりやすく取り組みの展開が説明されていました。ワークで自分自身やチームの現状を振り返ったり、強味弱みを書き出すことで、ものごとを進めていく上での見方が変わった気がします。1年後の目標に挙げたことを、前向きにやってみたいです。</li><li>・質の高いエンド・オブ・ライフ・ケアを達成するための看護師の役割です。</li><li>・チームの中での協力者を見つけること。</li></ul>					
6) 講義の内容で理解が難しかったことがあればご記入ください。					
<ul style="list-style-type: none"><li>・特になし</li></ul>					

## 全体について

### I. 本プログラムを受講して、‘エンド・オブ・ライフ・ケア’の重要性が理解できましたか。

大変そう思う	ややそう思う	普通	あまりそう思わない	全くそう思わない
15人	0人	0人	0人	0人

### II. 本プログラムの内容は、あなたの期待をどの程度満たしましたか。

大変満足した	やや満足した	普通	あまり満足していない	全く満足していない
13人	2人	0人	0人	0人

### III. プログラム全体や配布資料についてなど、ご意見・ご感想をお聞かせください。

- ・プログラム全体、配布資料に関しても分かりやすい内容でした。ありがとうございました。
- ・資料もわかりやすく、グループワークやロールプレイを取り入れてくださり楽しかったです。ZOOMなので他施設の方と雑談できなかつたのは心残りです。初日は電波が悪くてご迷惑をおかけしました。ありがとうございました。
- ・オンラインでのグループワークが不安でしたが円滑に進んで良かったです。コロナ禍では実際に患者さんやご家族とオンラインで会話することも出てくるかもしれないのでとても貴重な体験になりました。
- ・研修を受け、グループで共有することにより、それぞれの看護師としての対応や思いを聞くことができ、多くの学びが得られました。ありがとうございました。これからの実践に役立てていきたいと思えます。
- ・勉強になることばかりだったが、メニューが盛りだくさん過ぎて、かなり疲労しました。3日くらいあればよかったです。
- ・資料はすごく見やすく、書き込めるスペースも充分で助かりました。グループワークも意図が明確で難しかったけど1つ1つがとてもいい学びの場になって参加してよかったと思いました。ありがとうございました。
- ・私自身がはじめてのzoomでの研修でドキドキ戸惑っていましたが、とても円滑に進めて下さり、安心して臨む事が出来ました。ありがとうございました。受講させて頂き感謝しています。大変勉強になりました。配布資料も大変見やすかったです。
- ・資料はわかりやすかったです。ただ資料は抽象的なことが書いてあったので、講師が話している例などをメモに取りたかったのですが早くて間に合わないことが多かったです。
- ・画面越しのロールプレイは初めてでしたが、思っていたよりもやりやすかった。グループワークについては、やはり対面でない分、他の人の意見に対してすぐリアクションしたり、自ら発言するタイミングが難しかったですが、その環境の中でも、いろんな環境・立場も違う方と意見を交わせることができて、とても良い経験になった。
- ・思った以上に詳しく聞けて満足です。自分の弱みもわかり、もっと勉強したいと思いました。
- ・全体的に勉強になることばかりでした。配布資料もわかりやすかったです。